

総務文教常任委員会審査概要報告書

委員長 高岡 宏和

- I 開催年月日 令和 4 年 4 月 19 日 (火)
- II 会議時間 午後 1 時 00 分～午後 1 時 19 分
- III 出席委員等
- | | | | |
|--------|---------|----------|-------|
| [出席委員] | ◎高岡 宏和 | ○山口 泰祐 | 田中 勝文 |
| | 出町 譲 | 中村 清志 | 中川加津代 |
| | 坂林 永喜 | 上田 武 | 曾田 康司 |
| | (◎…委員長) | (○…副委員長) | |
- [議長] ※坂林 永喜議長は委員として出席
- [副議長] 本田 利麻
- [説明員] 別紙名簿のとおり
- [委員外議員] 山上 尊士
- [事務局職員] 西本 幸夫 高嶋 史恵 堀田 寛之
- [傍聴者] 1 名

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

[未来政策部]

- (1) たかおかわくわくワーキング支援事業（高岡市移住支援金）の拡充について
- (2) 赤レンガの建物（旧富山銀行本店）の保存活用計画等の策定について
- (3) 公共施設等総合管理計画の改定について
- (4) 「まちづくりミーティング」の開催について

〈 委員から次の質疑があった。 〉

(以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示)

【たかおかわくわくワーキング支援事業（高岡市移住支援金）の拡充について】

- 受け入れ企業の業種が充実していないと、移住者も増えない。本市の多くの会社に周知し、この事業に参加していただき、東京圏からどんどんいい人材を確保する

きっかけとしてほしいと考えるが、当局の想いは。

- △ 今般のわくわくワーキング支援事業は、単に転入時のインセンティブというものではない。受け入れ側の自治体としては、魅力ある企業の育成が求められると考えている。また、子どもの加算が新設され、世帯での移住が想定されることから、子育て環境の充実や地域の魅力を上げていくことも求められている。まずは、委員ご指摘のように就業マッチングが大変重要と考えているので、様々な局面をとらえて、市内企業の魅力を伝えていきたい。

【公共施設等総合管理計画の改定について】

- 平成 28 年 3 月に公共施設等総合管理計画を策定した結果、中長期的な施設の更新費用の予測額が、この 6 年間で 19 億円縮減されており、今後の持続可能な行財政運営を進めていく中で、大変良い形で進んでいると思う。今後も部長をはじめ、担当課長等がしっかりと話し合い、さらに良い形にしてほしいと考えるが、当局の想いは。
- △ 令和 4 年度から、公共施設等の総合管理に関して未来政策部が担当することになった。その第一歩目として、令和 4 年度に公共施設再編計画の見直しを予定しており、より良い形となるようしっかりと進めていきたい。

2 その他

次回の常任委員会の開催について

5 月 20 日（金）午前 10 時に開催することが報告された。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

総務文教常任委員会 当局説明員（4名）